



Rotary Club
T O K Y O S U G I N A M I

Vol.3 ローターライフを共に

例会

ぜひ、あなたも
参加してください。

ロータリークラブは、実業及び専門職務の経営者・指導者によって構成され、人道的奉仕を行ない、あらゆる職業において道徳的基準を守ることが奨励し、かつ、世界に於ける親善と平和を築くことを目指した団体です。ロータリー会員（ロータリアン）は、定期的に行なわれる例会に出席し仕事を離れて親睦を深め、毎回各方面から招く卓話者の話を聴いて、見聞を広めることができます。

ロータリークラブは、青少年の育成にも力を注いでいます。学生や働く青年たちの活動（アクト）を援助・指導し、また、海外留学の道を開き、毎年選出された高校生を世界各地に派遣、そして、世界各地から日本を訪れる留学生にホームステイの受け入れなども行なっています。

ロータリーの基本は「奉仕」と「親睦」です。この2つについては、次ページ以降に紹介します。

仲間の輪が広がり 知識も多岐にわたる



例会

最初の30分は諸連絡と食事・歓談。後半30分は専門家、知識人を招いて卓話をしていただきます。



東洋の魔女、千葉
(松村) 勝美さん



養老孟司教授



3クラブ合同ガバナー訪問

年に1回、地区のガバナーを招いて関係の深い3クラブ（城西RC・西南RC・杉並RC）合同の例会を行ないます。杉並区長を講演者として招き、区政のさまざまな方針・抱負について語っていただいたこともありました。



開会・閉会の点鐘は3クラブの会長が揃って行ないます。





IM (インターシティミーティング)

地区の勉強会。この時は、環境問題をテーマに、小池環境大臣（当時）、松井孝典東京大学教授を招いてお話を伺いました。



ロータリーハイウェイの提案

当クラブは、首都高速道路の老朽化を踏まえ、大深度に高速道路を敷設し、地上の緑地化・環境整備と、渋滞の緩和を目指そうと提案。シンポジウムでは、石原都知事（当時）のビデオメッセージを紹介しました。



世界大会

年1回、世界中のロータリアンが集まって、さまざまな行事や会議を催します。



2015-16年度ソウルでの世界大会



2018-19年度ドイツ・ハンブルグでの世界大会

地区大会 (in グアム)

2750地区には、グアム、サイパン、パラオなども含まれています。年1回の地区大会は主に国内で催されますが、10年に1度グアムで開催されます。



1998-99年度の地区大会



50年ぶりの台風の中で、2018-19年度の地区大会

奉仕

喜んでできる奉仕こそ 真の奉仕

ロータリー活動の大きな柱として奉仕活動があります。自らの職業に誇りをもって職業に携わり、社会に貢献することも一つの奉仕です。

また、地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することもロータリアンは求められます。後頁で紹介する青少年育成の活動もその一例です。

ロータリーは、国内だけではなく世界的な奉仕活動において、数あるNGOのなかで屈指の実績を上げています。それは、国際的な会員のネットワークがあるからです。ロータリーに入会することで、あなたもその奉仕活動の一翼を担うことができるのです。

以上、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に、各クラブの維持・運営・発展のために行う奉仕を加えて、四大奉仕とされています。

あなたの身のまわりでも、私たちロータリアンの活動は日々行われているのです。

地域のために、 そして世界のために役立とう

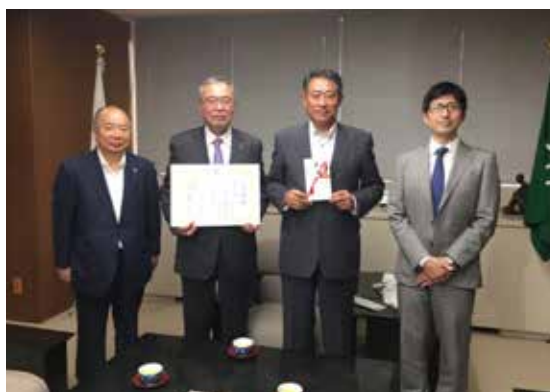
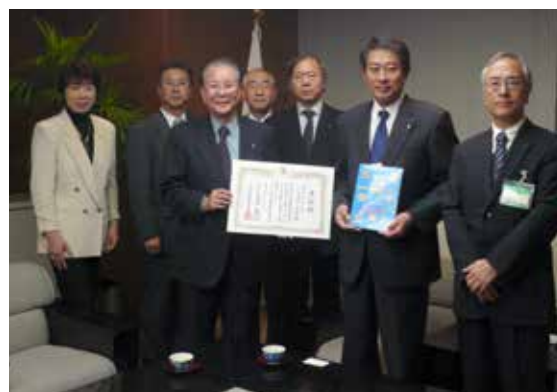
福祉作業事務所に車椅子と補修費用を寄贈



車椅子を寄贈するだけでは、故障が生じた場合に困りますので、近隣の都立杉並工業高校にメンテナンスを依頼。山田杉並区長（当時）に、車椅子の目録を渡しました。

通級指導者支援

杉並区立中学校の新任教諭に通級指導の参考図書を送ることにし、田中区長に贈呈。



新型コロナウイルス感染症対策のための寄附

杉並区役所で杉並区の新型コロナウイルス感染症対策寄附の贈呈し、田中区長から感謝状を頂きました。

ふれあい運動会

障害者と健常者が一緒にスポーツを楽しむことにより「相互のふれあい」と「相互理解」を促進させ、障害者福祉の向上を図ることを目的に、毎年「ふれあい運動会」（杉並区保健福祉部）に協賛・参加しています。





飯館村・南相馬への支援

南相馬ロータリークラブから、「飯館村の水道水の放射線量が高い。乳児用に汚染されていない水を」との支援要請を受け、トラックで4トンの水を直接届けました。また、東京青山ロータリークラブの名誉会員日野皓正氏が中心になって行なったチャリティコンサートやサイン会にも共催するなど、支援を続けています。



全国植樹祭に先立って南相馬で90本の黒松を植樹

南相馬市原町区北泉海浜総合公園にある県防災林造成地で黒松の苗木90本を植樹しました。地元の新聞2紙でも紹介されました。



はらっぱ広場に椅子を寄贈

広場で一休みできるように秋田杉の椅子とテーブルを寄贈しました。なるべく人の手を煩わさないよう、会員自身も汗をかくて広場の各所に設置しました。



ロータリー100年を記念してはらっぱ広場に植樹

大きく育つことを願い植えたしだれ桜（左）。10年後、右の写真のように青々と大きく育ってくれました。





日本語スピーチ大会を共催

杉並区交流協会主催で行なう、留学生による日本語スピーチ大会を杉並区と共催し、毎年会員が審査委員長をつとめています。



ディスクレシア（発達障害の一つ）支援

最年少真打の落語家、柳家花緑さんをお迎えした講演会に240名の方をご招待してディスレクシア支援のイベントを行いました。

オリ・パラ支援体験教室

東京オリンピック・パラリンピック支援で、車椅子ボッチャやバスケットの体験授業を開催。



子どもたちに生のクラシック演奏を

NPO 法人みんなのこぼの活動を支援して、園児たちの目の前で生のクラシック音楽の演奏を体験してもらいました。



熱心に聞き入る園児たち

オーストラリアの少年ラグビーチームを受け入れ

姉妹クラブであるオーストラリアノースブリッジロータリークラブの依頼を受け、ウィロビー市の少年ラグビーチームを受け入れました。会員の寺院では坐禅・茶道などの文化体験、また相撲・剣道を通じたスポーツ交流、ラグビーの親善試合を行ないました。



いろいろな楽器を紹介



バルカン室内管弦楽団への支援

バルカン室内管弦楽団は、日本人指揮者柳澤寿男さんが2007年に立ち上げたバルカンの民族共栄のための管弦楽団で、セルビア人、マケドニア人、コソボ人、クロアチア人など、多数の民族によって構成されています。音楽を通じての平和活動はロータリークラブの目的と一致。当クラブは、日本をはじめ、ボスニア・ヘルツェゴビナの首都サラエボでのコンサート開催等の活動を支援しています。NHKや地元メディアでも紹介され活躍の場をひろげています。

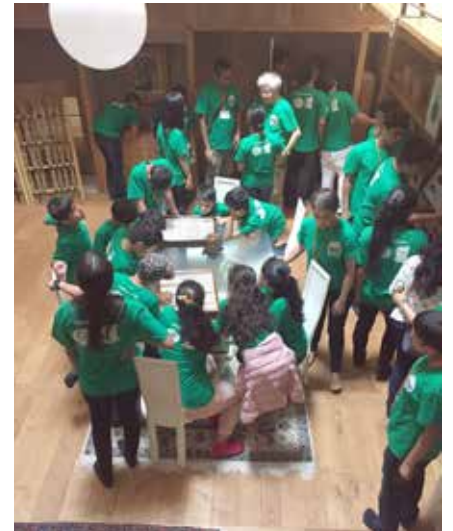


ネパールでの援助活動

ネパールカトマンズのポカラを訪問し、サランコットの小中学校の修復費用と子どもたちへ鉛筆やノートを寄贈。校舎の修復完成祝賀会に出席しました。



カトマンズロータリークラブでは、子どもたちの識字率向上のためのプロジェクトとしてエッセイコンテスト（テーマは「ポカラの湖を守る」）を開催し、優秀な子どもたちに記念品を贈呈しました。



近年は、杉並区内にあるネパール・インターナショナル・スクールも支援。養老孟司教授の昆虫館も見学しました。

バギオ基金活動への参加

明治時代から勤勉な労働力として活躍した邦人社会がフィリピン各地にありました。しかし、第2次大戦で日本軍に協力したために迫害を受けます。バギオ山中に逃げて貧しい生活をしていた彼らの救出活動を、シスター海野が1972年に始めました。我々ロータリアンもその活動に協賛し援助しています。



バギオの児童たちによる歓迎の



親睦

堅いばかりじゃ、
つまらない

親睦活動は、会員相互の友誼を増進したり、ロータリーの奉仕プロジェクトを活性化するために欠かすことのできない要素で、ロータリークラブの原動力とも言えるものです。

さまざまな親睦活動を通して、新しく入会した会員もたちどころに知己が増え、充実したロータリーライフを過ごすことができます。

奉仕活動の際もそうですが、他クラブの会員と、さらに国際的な交際へと活動の幅を拓けることもできます。

新しい情報、斬新なアイデア、得難い人的交流、国際的な視点…、それらの可能性がいつも活動の中に込められているのです。

ロータリーライフは、あなたの人生をいっそう意義あるものにしてくれるに違いありません。

あなたも私たちの仲間になりませんか？

生涯の友・家族同士の付き合いが 人生を豊かにする



会員宅でのワイン会

いつも楽しい親睦会

趣向を凝らした親睦会を四季折々に催しています。おいしい料理とお酒を囲み、仲間との楽しい一時を過ごしています。上は観桜会、左はワイン会。



古城巡り同好会

年に一・二度、古城巡りの好きなメンバーで日本各地を訪れます。天空の竹田城にも行きました。調子に乗って、スペインまで足を伸ばしました。



赤穂城のボランティア浪士と



家族親睦旅行

毎年担当委員が案を練り、日本各地の名所や姉妹クラブのある南相馬市などを訪れています。



上海万博



台北近郊の観光地、クーロン



台北のパワースポット、龍山寺



金沢から能登半島を一周



南相馬ロータリークラブからのご招待を受け、国の重要無形民俗文化財に指定されている「相馬野馬追い」を観覧しました。



親睦ゴルフ会

クラブ内でのゴルフ会の他、地区が主催するクラブ対抗ゴルフ会などに参加しています。写真左は、姉妹クラブの南相馬 RC のメンバーとの親睦ゴルフ会。下は、3クラブ合同ゴルフ会。



姉妹提携

オーストラリアのシドニーで、ノースブリッジロータリークラブと姉妹提携を結び、海外での奉仕活動や親睦を行なっています。



姉妹提携

南相馬市を中心とする被災地の青少年支援という理念のもと、南相馬ロータリークラブと姉妹の調印式を執り行ないました。



有名な京都の茶屋に杉並RCのメンバーが案内



創立 30 周年を記念して、ノースブリッジ RC、南相馬 RC 双方のロータリークラブと改めて姉妹提携の調印をしました。

年末の家族親睦会

アトラクションや福引きで盛り上がります。右下写真のネパール大使も当クラブ名誉会員です。



青少年育成



ブラジル出身の米山奨学生



マレーシア出身の米山奨学生



ブラジルから来日した交換留学生



トルコから来日した交換留学生とホストファミリー



ドイツから来日した交換留学生とホストファミリー

勉学・研究のために日本に在留している留学生に奨学金を支給する米山記念奨学会。海外の高校生と日本の高校生を交換して、それぞれホストファミリーとして受け入れて1年間留学させる青少年交換等、多岐にわたっています。

また近年は、東日本大震災で被害にあった南相馬市の青少年の育成・心のケアにも活動の輪を広げています。



南相馬の生徒を招待して浅草寺・スカイツリー・クルーズなどを体験



南相馬の生徒と宝仙学園の生徒の意見交換会



小高小学校の子どもたちに図書を贈呈。三年間で1,000冊を超える



相馬養護学校に教材・作業用具を寄贈



相馬中学校のグラウンドに照明灯を寄贈

ロータリーの綱領



ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること
そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。



東京杉並ロータリークラブ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-2
西新宿アーバンフラッツ 201 号
TEL 03-5937-0886 FAX 03-5937-0887
Email info@tokyosuginami-rc.org
HP <http://tokyosuginami-rc.org/>